

## 令和元年度 産業建設委員会 所管事務調査報告

### 調査テーマ：インバウンド観光の促進

#### 1. 本市の現状

平成 29 年の宮崎県内の外国人宿泊客数（延べ数）は、225,914 人となっており、その内、韓国 72,468 人、香港 57,465 人、台湾 51,530 人が上位 3 国となっている。一方、本市における外国人宿泊者についても、台湾・香港が上位を占めていることや、台湾からの修学旅行生の受け入れ実績、これまでの事業展開を踏まえ、引き続き、東アジア地域を中心に国や県、関係団体等と連携を図りながら誘客促進に取り組んでいる。

#### 【本市における外国人宿泊客数（延べ数）】

年	延べ宿泊客数	主な内訳
平成 26 年	629	アメリカ 79、台湾 33、中国 103、香港 29、韓国 91、タイ 18、その他 276
平成 27 年	858	アメリカ 183、台湾 236、中国 65、香港 134、韓国 109、タイ 6、その他 125
平成 28 年	1,356	アメリカ 139、台湾 84、中国 71、香港 136、韓国 59、タイ 11、その他 856
平成 29 年	2,880	アメリカ 63、台湾 280、中国 183、香港 509、韓国 122、タイ 179、その他 1,544
平成 30 年	2,598	アメリカ 73、台湾 368、中国 119、香港 701、韓国 151、タイ 56、シンガポール 61、オーストラリア 56、インドネシア 37、その他 976

※ ホテル旅館組合等の調査より

## 2. 本市の主なインバウンド施策

### (1) のべおかインバウンドプロモーション関連事業（予算額：1,230 千円）

九州観光推進機構が主催する台湾の現地商談会等に参加し、本市の食や民泊などの観光PRを展開するとともに、現地旅行会社へのセールス活動を実施する。

### (2) のべおか民泊推進事業（予算額：1,280 千円）

近年の体験型観光への流れを受け、将来的には、教育旅行（修学旅行）の誘致、あるいは、日本の伝統・文化などに触れ合う機会の創出として、インバウンドの受け入れ強化を図るため、平成29年6月に市内15軒の民泊事業者による「延岡ふるさとツーリズム協議会」が設立された。現在は、19軒となっている。

### (3) 延岡への新たな流れをつくる誘客事業（予算額：3,150 千円）

地方創生交付金を活用し、首都圏等に本拠地を置く、大手旅行会社等から本市での宿泊や食事、ショッピングを組み込み、高千穂町等からの新たな流れをつくる形の募集型・受注型の企画旅行商品を造成してもらい、送客実績に応じ、募集に係る経費の一部を支援することで、インバウンドを含む観光客の増加を図る。

### (4) 国際イベントを活かした新たな誘客事業（予算額：6,672 千円）

ラグビーワールドカップをはじめとした国際的な各種大会の開催を見据え、インバウンド本格化元年と位置付け、首都圏等を中心に発刊される訪日・在日外国人向けの無料情報誌への広告掲載、英語版パンフレット等の作製やインバウンドおもてなし講演会の開催等を行い、外国人観光客の受け入れ強化を図る。

## 3. 今後の取組

当面は、引き続き、国・県・関係団体と連携し、東アジア地域の台湾・香港などを中心としたインバウンド施策を展開する。また、訪日外国人のニーズの把握に努めるとともに、旅行会社等の意見も参考にしながら受け入れ環境の整備や外国人目線を意識した各種プロモーションを展開する。さらに、本市が有する食・自然体験・歴史・神話などの観光資源の磨き上げを行いながら、国内はもとより海外からの誘客促進を図っていく。

## 4. 他自治体の取組状況

### 松本市(長野県)

#### ◆松本市のインバウンド戦略

##### (1) これまでの取組

###### ◆海外プロモーション

- 平成 15 年～ 台湾旅行博への出展を中心とした官民連携による現地セールスの実施
- 平成 18 年～ 外国語の観光ホームページを作成し、現在は 9 言語で観光情報を発信
- 平成 21 年～ 高山市、金沢市、白川村との 4 市 1 村連携による、東南アジアや欧米豪の海外旅行会社やメディア招聘事業等の継続的な実施
- 平成 22 年～ 金沢市と連携した香港旅行会社やメディアの招聘事業等の実施
- 平成 27 年～ 交流都市の札幌市、鹿児島市と共に「超広域観光ビジット 3」を発信
- 平成 28 年～ 南砺市、高山市、金沢市、白川村と「北陸・飛騨・信州 3 つ星街道観光協議会」を組織し、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンに掲載の 3 つ星観光地を巡る広域周遊ルートを発信

###### ◆台湾高雄市との交流事業やメディアを活用した宣伝事業の継続

###### ◆市内宿泊事業者との連携（旅行会社へのセールスや外国人旅行者受入体制の強化）

##### (2) 主なインバウンド関連事業

###### ① 海外誘客宣伝事業

- 広告宣伝（英、仏、豪等への SNS 広告）
- プロモーション動画制作・配信
- 旅行博出展（台湾高雄市）
- 外国語パンフレット（9 言語）整備

###### ② 外国人旅行者体験拡充事業

- 城下町文化体験イベント（年 12 回）
- 市内体験サービス事業者 PR ウェブサイト制作・運営

###### ③ Wi-Fi 環境整備・補助

- 公衆無線 LAN 整備・運営（H27～主要スポット 17 か所）
- 個店 Wi-Fi 整備補助（H27～H30：79 件）

## ④ 多言語ウェブサイト（9言語）運営

- 市民団体「新まつもと物語プロジェクト」との官民連携サイト
- H29：全面リニューアル⇒スマホ対応・情報発信強化

## ⑤ 超広域観光ビジット3

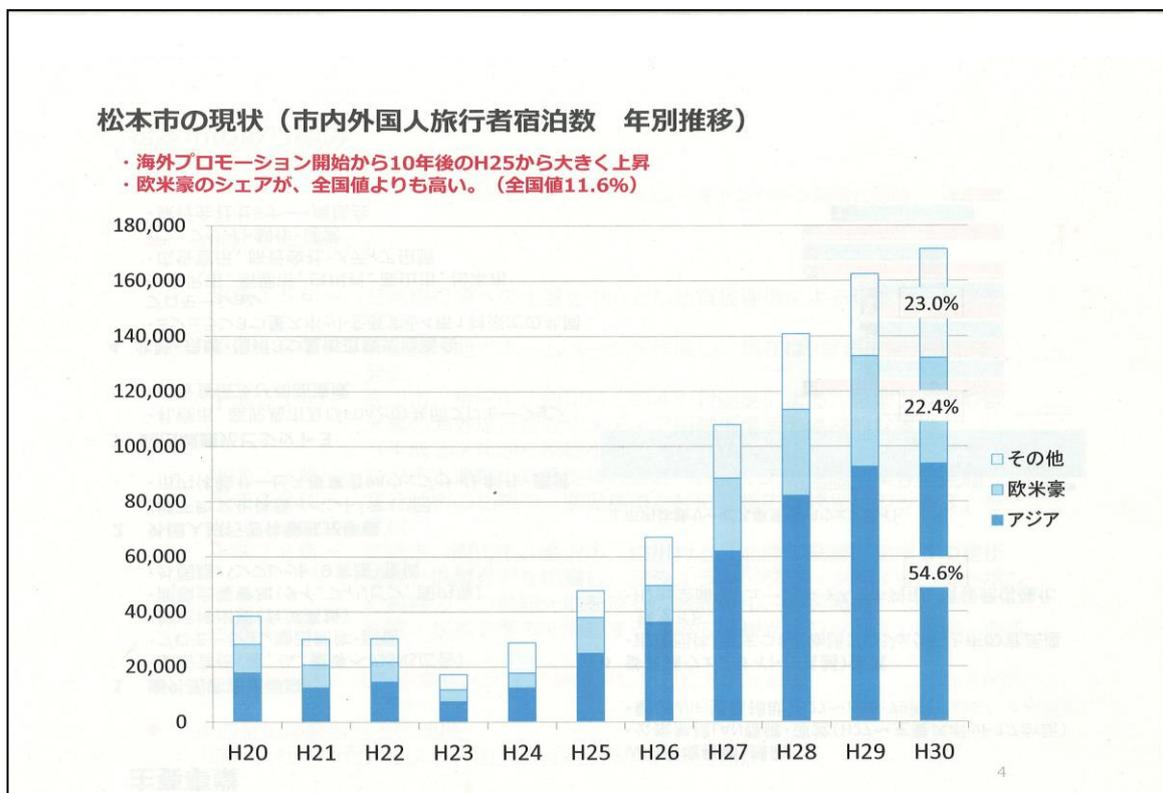
- 札幌市・鹿児島市及びフジドリームエアラインズとの共同プロモーション
- 広告宣伝及び商品造成

## ⑥ 北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会

- ミシュラン3つ星スポットを有する4市1村での共同プロモーション
- 広告宣伝、旅行会社・メディア招聘
- ウェブサイト制作・運営
- 旅行会社セミナー・商談会の開催

## (3) 取組の効果について

海外プロモーション開始から10年後の平成25年から大きく上昇し、外国人旅行者宿泊客数は、毎年順調に伸びている。また、松本市のインバウンドの特徴として、欧米豪への宣伝を積極的に行っていることから欧米豪からのインバウンド客のシェアが全国値より高くなっている。



## 5. まとめ

今般の新型コロナウイルスは、パンデミックといえるとの WHO の表明により、今後のインバウンドへの影響が懸念されるところであるが、我が国における外国人旅行者は、2018 年に過去最高となる 3,119 万人となり、6 年連続で過去最高を更新している。特に、アジアからの外国人旅行者は、2,637 万人で外国人旅行者全体の 84.5% を占めており、国別では、中国・韓国・台湾・香港で 2,288 万人となっている。

そのような中、本市のインバウンド施策については、のべおかインバウンドプロモーション事業やのべおか民泊推進事業等を展開し、修学旅行や農家民泊の受け入れ等により、外国人宿泊者数は伸びてきているところである。

調査を行った松本市においては、近隣の自治体と連携した広域観光ルートや札幌市・鹿児島市と連携した超広域観光ルートを構築し、広域での連携を活かした誘客を図っている。また、市民団体と連携した日本舞踊や茶道、三味線、折り紙といった伝統日本文化の体験プログラムを広く海外へ発信し、体験型観光の受け皿を構築するなどの取組によって、平成 30 年度の外国人旅行者宿泊数は、延べ 17 万泊を超えている。

このようなことから、外国人旅行者を誘客するためには、外国人のニーズを捉えた様々な取組が必要となっており、近年においては、体験型観光のニーズが増えていることから、例えば、建設が進んでいる内藤記念館の庭園に整備される予定の和室を活用し、先進事例のような外国人向けの茶道や日本舞踊等の体験ができるような受け皿を構築することが効果的と考えられる。また、無料 Wi-Fi スポットや翻訳機などのハード面の整備についても、外国人旅行者にとって非常に重要であることから、これらの整備に係る補助等について将来的な検討が求められている。

最後に、一般的に外国人旅行者は購買意欲が高いと言われており、誘客することによって一定の経済効果が期待できることから、本市が誇る食や自然体験、歴史・神話などの観光資源をさらに PR し、近隣自治体との連携を図りながら積極的に海外からの誘客促進を図っていく必要がある。

## 調査テーマ：新たな産業団地の整備

### 1. 本市の工業団地の現状

#### ◆リサーチパーク向洋台

市の中心部から南へ約5kmに位置する日向灘を一望できる高台に所在し、半径2km以内には、一ヶ岡団地・旭ヶ丘団地・鶴ヶ岡団地等の人口が集積した地区があり、労働力を確保する上で恵まれた環境である。

立地企業名	業種	主な事業内容	敷地面積
西南電気（株）	建設業	電気、電気通信、機械器具設置等	7,583.18 m <sup>2</sup>
オドナ・スタイル(株)	縫製業	高級紳士・婦人服のOEM生産、繊維製品の製造等	4,295.55 m <sup>2</sup>
(有) にへい精機	製造業	各種産業設備設計製作、各種精密機械部品製作	2,781.93 m <sup>2</sup>
(株) カシヤマ	電気通信工事業	電気工事業、看板制作等	1,363.80 m <sup>2</sup>

#### ◆クレアパーク延岡工業団地

市の中心部から西へ約4kmに位置する丘陵地帯に所在し、東九州自動車道と九州中央自動車道が交わる東九州のクロスポイントである。東九州随一の工業集積を背景とした高度な技術を持つものづくり企業が集積している。

#### 【クレアパーク延岡工業団地第1工区】

立地企業名	業種	主な事業内容	敷地面積
旭有機材（株）	製造業	樹脂パイプ及び樹脂バルブの製造、加工等	17,650.93 m <sup>2</sup>
(株) 甲斐製作所	製造業	精密部品加工（半導体製造装置、電子機械部品等）	3,311.05 m <sup>2</sup>
(株) 甲斐鐵工	製造業	ポンプ及び機械部品組立、据付、メンテナンス	1,658.11 m <sup>2</sup>
(株) 佐々木冷菓	流通関連業	冷菓・冷凍食品の卸売	1,683.05 m <sup>2</sup>
(株) 春日陸送	流通関連業	自動車運送業	5,236.93 m <sup>2</sup>
センコービジネスサポート（株）	情報サービス	事務処理代行業、コールセンター業務	6,700.07 m <sup>2</sup>

## 【クレアパーク延岡工業団地第2工区】

立地企業名	業種	主な事業内容	敷地面積
ミツワハガネ（株）	製造業	航空機関連部品等の製造	9,333.56 m <sup>2</sup>
（有）桐木工作所	製造業	精密機械部品の製造、加工等、医療機器部品製作	6,611.97 m <sup>2</sup>
富士チタン工業（株）	製造業	チタン酸バリウム（半導体原料）の製造	38,060.24 m <sup>2</sup>
（株）中園工業所	製造業	半導体製造装置、その他金属製品の部品等の製造	16,500.72 m <sup>2</sup>
（株）三井	流通関連業	建築土木資材、ヘルスケア製品の卸売	5,844.21 m <sup>2</sup>
（株）アトル	流通関連業	医薬品、医療機器等の卸売	5,926.19 m <sup>2</sup>
（株）くらこん	製造業	食料品（塩昆布・簡単調理食品ほか）の製造	10,308.92 m <sup>2</sup>

## 2. 本市における新たな産業団地の整備

## (1) 背景・経緯

近年における全国の工場立地件数や国内の設備投資は上昇傾向にあり、その中で、企業が新規に立地する際には、災害リスクや国内での拠点強化を重視する傾向がある。

宮崎県内における企業立地状況を見ると、製造業では年間 20～30 件と堅調に推移しており、最近では、日機装（株）が宮崎市、キヤノン（株）が高鍋町へ立地するなど大型企業の立地が相次いでいる。また、宮崎市や都城市、えびの市が新たな工業団地の整備を進めている。

## (2) 新産業団地の概要

- ① 位置：クレアパーク延岡内（延岡市天下町）
- ② 面積：分譲面積：約 10ha（開発区域は 20ha 程度）
- ③ 整備費用（概算）：総事業費：約 28 億円
- ④ 完成予定：令和 6 年 3 月予定

## (3) 今後のスケジュール（予定）

	R1	R2	R3	R4	R5
①地権者調査	→				
②文化財調査（試掘）	→				
〃（本調査）		→	→	→	
③基本計画	→				
④基本設計		→			
⑤実施設計		→			
⑥用地測量・鑑定評価		→			
⑦用地交渉			→		
⑧地区計画策定・開発行為申請			→		
⑨造成工事				→	→

## 3. 他自治体の取組状況

## 高岡市(富山県)

## ◆IC パーク高岡の整備

## (1) 背景・経緯

平成 27 年 3 月 1 日に北陸自動車道高岡砺波スマートインターチェンジが供用開始され、高速交通網とのアクセスが格段に向上したことから、平成 27 年度には、当該インターチェンジに隣接する「高岡オフィスパーク」の分譲が完了した。当時、市内には他の工業団地に未分譲用地が残っていたものの、企業からの問い合わせが多くなってきており、企業立地推進による地域活性化のためにも、新たな産業団地の造成が急務であった。そのような中、平成 28 年 9 月 30 日に都市計画変更によって、高岡砺波スマートインターチェンジに近接する 16ha が市街化区域に編入されたことから、当該地区における産業団地の造成に取り組んだ。

## (2) IC パーク高岡の概要

IC パーク高岡の「IC」には、「Industrial Core：産業の中核拠点」「Inter City：物流拠点」「Innovation Challenge：技術革新への挑戦」「Inter Change：高岡砺波 SIC に隣接」「Interest Continue：利益の継続」の5つの意味が込められている。

- ① 所在地：富山県高岡市 IC パーク
- ② 対象業種：原則、日本標準産業分類の製造業及び運輸・郵便業・卸売業
- ③ 整備費用：総事業費約 24 億円
- ④ 面積：分譲面積 136,243.45 m<sup>2</sup>

区画	面積	販売価格
A 区画	29,800 m <sup>2</sup>	18,100 円/m <sup>2</sup>
B 区画	8,600 m <sup>2</sup>	18,500 円/m <sup>2</sup>
C 区画	13,200 m <sup>2</sup>	18,500 円/m <sup>2</sup>
D 区画	45,900 m <sup>2</sup>	18,100 円/m <sup>2</sup>
E 区画	2,000 m <sup>2</sup>	18,500 円/m <sup>2</sup>
F 区画	21,600 m <sup>2</sup>	18,900 円/m <sup>2</sup>
G 区画	14,400 m <sup>2</sup>	18,900 円/m <sup>2</sup>

## (3) IC パーク高岡の特徴

- ① 全国に繋がる高速道路網
  - 東京まで約5時間
  - 大阪まで約3時間40分
  - 名古屋まで約3時間
- ② 北陸新幹線新高岡駅まで10分
- ③ 富山きときと空港まで20分
- ④ 災害に強い立地環境
  - N値50以上の地震に強い強固な地盤
  - 台風など水害のリスクが低い自然環境
- ⑤ 女性が働きやすい子育て支援環境
  - 隣接する高岡オフィスパーク内に企業主導型保育施設が立地

### 3. まとめ

本市の企業立地を取り巻く状況は、クリアパーク延岡工業団地第2工区への立地が加速的に進み完売となり、第1工区、第2工区合わせて約900人の雇用が実現しようとしている。また、企業の設備投資意欲が高まる中、今後の自治体間競争を勝ち抜くためにも、新たな団地の整備は喫緊の課題となっている。

そのような中、本市においては、第6次延岡市長期総合計画に基づき、クリアパーク延岡の機能強化に取り組み、立地環境の充実を図るとの方針や国内の企業が国内投資に向かおうとしているこの機を逃さないようクリアパーク延岡内に新たな産業団地を整備する計画となっている。

調査を行った高岡市においては、高まる企業の設備投資意欲や高速道路が開通した契機を捉え、新たな産業団地である「ICパーク高岡」を整備し、現在分譲中となっている。当該産業団地付近には、高岡市スポーツ健康センターを整備し、また、民間主導ではあるが、保育士のほかに看護師も勤務する保育園が整備されるなど、若い世代や子育て世代が安心して働きやすい環境づくりにも努めている。

このようなことから、本市に整備予定である新しい産業団地においては、交通アクセスや立地支援制度の充実はもちろんのこと、例えば、団地内に緑地公園を整備したり、保育施設を整備したりするなど、企業で働く人の職場環境にも配慮した整備が重要と考える。また、地域住民からの要望である交通渋滞緩和対策については、地域の意見を十分に吸い上げ、安全性と利便性を確保しつつ、主要道路へのアクセス性等も考慮した新たな道路の整備が必須である。

最後に、新たな産業団地の整備は、本市が直面する人口減少という喫緊の課題や地域経済への波及効果を考慮すると、重要な取組であると考えますが、今後の整備については、地域住民への丁寧な説明や住宅と団地の間に緑地等の緩衝帯を設けるなど地域住民の生活環境を守るきめ細やかな配慮を行った上で、東九州のクロスポイントといった地理的優位性を活かし、多くの企業から立地を希望されるような団地となるよう望まれるところである。